
炎症性腸疾患（IBD）の認知&外出の課題解決の日【IBD × Check Day 2019】

NPO法人 Check、EA ファーマと「五輪会場周辺の多機能トイレマップ」

制作イベントを5月18日に開催

多機能トイレ情報共有サービス「Check A Toilet みんなで作るユニバーサルデザイントイレマップ（<http://www.checkatoilet.com/>）」を運営する特定非営利活動法人 Check（本社：東京都世田谷区、代表理事 金子健二、以下 NPO 法人 Check）は、EA ファーマ株式会社と共に、誰もが安心して、江東区五輪会場まで散策・観光できるように、五輪会場周辺の多機能トイレマップを作るイベントを「世界 IBD デー」の前日、5月18日（土）に開催します。

■ 【IBD × Check Day 2019】中央区の多機能トイレマップを作ろう！

毎年、5月19日は「世界 IBD デー」として、炎症性腸疾患（IBD）の理解と認知に向けた取り組みが世界各地で行われております。炎症性腸疾患（IBD）の患者さんは世界に約 500 万人以上いると言われ、日常生活、特に外出先のトイレに問題を抱えております。この度、私たちは炎症性腸疾患（IBD）の患者さんをはじめ、障がいや疾病があるなしに関わらず、安心して、江東区五輪会場まで散策・観光できるように、五輪会場周辺の多機能トイレマップを作るイベントを開催します。



※炎症性腸疾患（Inflammatory Bowel Disease: IBD）とは：
大腸および小腸に慢性の炎症または潰瘍を起こす病気の総称。

活動は2部構成になっており、第1部では「知っているようで知らない高齢者・障がい者と多機能トイレの問題点」というテーマの講演・研修を行い、「Check A Toilet」の必要性・重要性、そして「炎症性腸疾患（IBD）の理解」を説明いたします。第2部では五輪会場周辺の多機能トイレチェックを行います。

◇日程：5月18日（土）

第1部 講演 10:00～11:00

- ・「知っているようで知らない高齢者・障がい者と多機能トイレの問題点」
- ・「炎症性腸疾患（IBD）の理解」

※講演・研修（代表理事 金子健二）

第2部 実地活動 11:00～13:00

- ・専用入力フォームによる多機能トイレチェック

◇開催場所

第1部：EA ファーマ株式会社 本社 会議室
：東京都中央区入船 2-1-1 住友入船ビル 9
第2部：江東区

◇参加者

- ・EA ファーマ 社員 50名
- ・アッヴィ 社員 数名
- ・IBD 患者会、学生、NPO 法人 Check 関係者 数名

[共 催] NPO 法人 Check、NPO 法人 IBD ネットワーク、EA ファーマ株式会社

[協 賛] アッヴィ合同株式会社

◇取材のお申込・このリリースに関する問い合わせは下記まで、

TEL：080-4162-4550 メール：k.kaneko@check.or.jp 担当：金子

特定非営利活動法人 Check

<http://www.check.or.jp/>

代表理事：金子健二

事業内容：

- (1) トイレマップ制作を通じた市民活動支援事業
- (2) バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する情報収集及び情報提供事業
- (3) 社会貢献活動に関する普及啓発事業

※記載されている社名・サービス名等は各社の商標および登録商標です。